

2025年度 第3回理事会 議事録 2025.6.12

日時：2025年6月12日（金）19：00～21：05

開催方式：オンライン開催

場所：各自自宅または職場

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、奥原孝幸（副会長）、遠藤陵晃（副会長）望月強併（事務局長）、玖島弘規、野本義則、澤口勇、青木啓一郎、佐々木秀一、神田崇央、神保洋平、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎、村仲隼一郎、佐伯まどか、石川恵美子

出席監事：錠内広之

欠席監事：野々垣睦美

I. 会長より挨拶

先日の定期総会では代議員の方々から貴重な意見を頂きました。新組織の中で積極的に取り組んでいければと思います。新理事の方は初参加となると思いますがどうぞよろしくお願い致します。

II. トピックス

1. 2025年度定期社員総会の振り返りについて（田中副会長）

代議員から会員数増加に向けた取り組み、会員数減少を抑制するための取り組みについてご意見を頂いた。当会として改めてワーキンググループを発足して取り組んでいきたい。

会員ワーキングの概要としては新入会員費無料等に対する検証、会員数減少の抑制に関する取り組みを検討する。メンバーは事務局、財務部、福利部、規約部、青木理事で取り組みたい。

活動期間は2026年度定期社員総会までとし、年4回を予定している。ワーキングの発足について審議頂きたい。

→賛成多数で承認

2. 役員選挙の振り返りについて（田中副会長）

役員選挙に関して、時流にあった公平公正な選挙実施に向けたマニュアルの見直しを行う。

活動期間は2026年度定期社員総会までとする。メンバーは田中副会長、事務局(玖島)、規約部(神田)、必要に応じて選挙管理委員としている。選挙ワーキングの発足について審議頂きたい。

→賛成多数で承認

3. 県庁訪問の報告について（神保会長）

資料を基に説明。

県庁職員に対して資料を基に説明を行った。作業療法の専門性のキーワードである「生活」や「生きがい」、「健康」に関して伝えた上で作業療法の活用について提案した。特に人材バンク(仮)を作り、対象者のミッション、ゴールに合わせた取り組みができるよう事業提案を行った。まずは県庁と協業した事業展開ができるよう進めていきたい。

県庁職員も前向きに捉えて下さっており、作業療法の活用、可能性についてより一層伝えていくことで認知度も上がっていくと思われる。継続的に取り組んでいく。

Ⅲ. 審議事項

1. 顧問承認について（神保会長）

神奈川県作業療法士会顧問について渡邊愼一氏を推薦する。

→賛成多数で承認。

2. 理事の部長承認及び下部組織の承認について（事務局）

①部長、副部長候補

学術部 部長：佐々木秀一 副部長：青木啓一郎

教育部 部長：神保洋平 副部長：村仲隼一郎

事務局次長 玖島弘規

財務部 部長 山勢健太郎

規約部 部長 神田崇央

福利部 部長 澤口勇

地域社会振興部 部長：佐藤隼 副部長：石川恵美子

エリア連携部 部長：佐伯まどか 副部長：野本義則

制度対策部 部長：佐藤範明 副部長：佐藤隼

広報部 部長：野本義則 副部長：佐藤範明

→賛成多数で承認

②下部組織候補

【学術部】

学術推進課：スキルアップ研修班・研究助成班・学術誌編集班・研究倫理班

学会支援課：学会班・臨床大会班

【地域社会振興部】

地域事業課：地域人材育成班・横浜市事業班・広域事業班

地域リハ課：認知症対策班・こども班・精神保健福祉班・難病リハ班・スポーツ支援班・訪問/通所班

【広報部】

情報発信課

対外広報課

【教育部】

現職者研修課

実習指導育成課

研修ポイント管理課

MTDLP 推進育成課

【制度対策部】

福祉用具班・自動車運転班・社会保障制度班・災害対策事業班

→賛成多数で承認

3. 部員承認について（事務局）

別紙参照

→賛成多数で承認

4. 県外査読委員の委託について（佐々木理事）

電子ジャーナル化に伴い、年々投稿数が増加している。教育的な査読をしており論文掲載までに半年以上要している状況。1つの査読が完了するまでは次の論文を担当しないようにしており、新規投稿論文の対応ができない

い状況となってきた。まずは県内で査読ができるスタッフを優先するが、不足した場合に県外のスタッフを活用できる環境を整備したい。

<質問>

田中副会長：交通費などの費用発生はあるか。

佐々木理事：全てオンラインで行うため通信費のみ。

佐藤範明理事：査読者になるための要件はあるのか。また賛助会員ではなく、委託とする理由はどのような点か。

佐々木理事：部員とはせず単発の委託を想定している。また査読者の要件については修士を持っている、複数の論文投稿をしているなどは基準としている。

奥原理事：県土会の雑誌に県外の方が関わることが妥当なのか疑問が残る。まずは県内向けへの広報や査読の仕組みを再考するなどの対応はできないか。

野本理事：まずは理事や理事の知り合いなどに声かけをして探してはどうか。

佐々木理事：可能であれば15名ほど新規査読者としたい。

結論：査読者を増やす件については、改めて基準や要件を再検討する。規約上も問題はない。

5. 「作業療法士と学ぶメンタルヘルス@さがみはら」について（事務局）

別紙参照

→賛成多数で承認

6. 「第33回整形外科リハビリテーション学会」後援依頼について（事務局）

別紙参照

→賛成多数で承認

7. 申込書等の書式変更について（玖島事務局次長）

入会申込書、退会届、変更届について書式変更を行う。

→賛成多数で承認

IV. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 電子印鑑について（事務局）

会計処理において電子印鑑が手間となっている状況。現在、振り込みが主となって明細が残るため電子印鑑の押印は不要である。電子印鑑の必要性について公益法人化協会に問い合わせを行った。回答としては、法人の内部規程等で押印を義務づけられていなければ問題ないとのことであった。会計マニュアルの変更で対応可能なため、進めていく。

2. 事務局員募集について（事務局）

現在2名体制となっているため増員を検討している。事務局員からは常勤者の採用希望がある。

今後募集し、採用手続きを進めていく。

3. 事務局員給与について（事務局）

現在の事務局員の時給が最低賃金よりも若干高い金額だが、長期間勤務している方の賃金もほとんど変わっていない状況。関内エリアの時給は1300円ほどであり、給与体系について今後検討していく。

4. 会員管理システムについて（事務局）

「協会員＝士会員」においてメールアドレスは協会から得られるようになっている。県土会内での情報管理については外部業者が作成したソフトを使用している。しかし更新ができていない部分もあり、どのような管理体制が望ましいか検討する必要がある。情報管理方法や情報発信(会員へのメール送信)の方法についてはメールにて意見聴取を行う。

<意見>

神田理事：協会からの県士会員のメールアドレス取得について会員への周知が必要なのではないか。以前、覚書を取り交わす際に弁護士に相談したところ、メールアドレスの取得や使用について丁寧な説明が必要であるとの意見を頂いた。提案としては、会員に対してメールアドレスを取得することと使用することについて周知する期間を設けたらどうか。

5. 理事内情報共有システムについて（事務局）

現在、メールや Slack、X ドライブを使用している。メールが主体のため、埋もれてしまうことや見落としに繋がっている。用途を明確にした上で使用するツールを検討したい。メールにて意見聴取する。

6. 2024年度研究助成事業対象者の研究期間の延長について（佐々木理事）

サンプル収集に時間を要するため、延長希望があった。研究上、問題ないため延長可とする。

7. 学会進捗報告について（青木理事）

①第 20 回神奈川県作業療法学会について

演題 45 件中、19 件が採択、26 件が修正後採択となり、不採択はなし。6 月初旬に最終採否を通知予定。プログラム編成は 6 月に実施し、ホームページ上で事前に公開予定となっている。保育室の設置、機器展示、カフェコーナーの準備も進行中です。参加登録も開始予定で、合わせて SNS での情報発信も強化していく予定。予算案はボランティア人数や助成金、企業収入等を反映し最終調整中。事前申し込みも開始されているため、ぜひ多くの方に登録して頂きたい。

②第 7 回臨床作業療法大会について

実行委員会も開始となり、準備が進んでいる状況。開催地は神奈川県立保険福祉大学を検討中であり、大会長が 12 月の理事会報告を目安に大会趣意のプレゼンテーションを作成する運びとなっている。

8. ポイント申請、事例登録読み替えマニュアル変更について（神保洋平理事）

資料を用いて説明。詳細は別紙参照。

<質問>

村仲理事：受講者からポイント付与について問い合わせがあった場合の対応はどのようにしたら良いか。

神保洋平理事に連絡する。

9. 県士会サイト内の各部署のページ更新について（野本理事・佐藤範明理事）

各部署、部署ページの変更をお願いしたい。締め切りを 6 月末までとする。

改めてメールで配信。メーリングリストについても確認作業を行う。

10. 新入会員オリエンテーションについて（福利部）

日時：2025 年 6 月 29 日(日)11 時 30 分～12 時 30 分

場所：イムス横浜国際看護専門学校(JR 横浜線、田園都市線 長津田駅)

研修会の参加者は 30 名ほど。募集をかけていく。

【その他報告部署・理事】

1. リハ手帳について（神保会長）

今まで澤口理事が主体となり活動してきた。澤口理事の部署変更に伴い、事務局で引き継いでいく。

2. 医療保険・介護保険における作業療法算定に関する担当者会議について（佐藤範明理事）

資料を用いて説明。資料参照。

疾患別リハビリテーションや介護医療院において作業療法について返戻になっているケースがある。

OT 協会としても情報収集をしているため、必要に応じて協会へ情報提供していく。

V. 監事より

錠内監事より

任期の間で結果が出せるようスケジュール感を持って取り組んでいてもらいたい。
各部署連携して進めていってください。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	田中 ゆかり	印
	理事：	佐々木 秀一	印
	理事：	佐藤 隼	印
	監事：	錠内 広之	印